

2019 年度広東省大学生招聘プログラムを実施 日本企業・団体の取り組みをSNSで中国全土に情報発信

期 間： 2019 年 7 月 22 日（月）～7 月 26 日（金）
協 力： 中国広東省人民対外友好協会、中国青年報社
参 加 者： 中国広東省の大学生 6 名
コディネーター： 吉満 弘一郎 経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターは、中国の広東省人民対外友好協会、中国青年報社と協力し、7 月 22 日から 26 日にかけて、ジャーナリストを目指す広東省の大学生 6 名を招聘した。

「バリアフリー社会に向けた日本企業・団体の取り組み～施設・街づくり、UD（ユニバーサルデザイン）、東京パラリンピック大会などの観点から」をテーマに企業や団体を訪問。日本の最先端の取り組みを学び、その内容を随時インターネット交流サイト（SNS）で発信した。

プログラムに参加したのは、中山大学嶺南学院、華南師範大学、華南理工大学、暨南大学、広東工業大学、広東外語外貿大学の学生で、いずれも今回が初めての来日。

参加した学生たちは、各企業の質の高いUD、バリアフリーの考え方や製品・サービスについて注意深く説明を聞き、活発な意見交換を行った後、メディア連盟や大学公式のSNS（WeChat）に記事や動画を掲載。数回にわたり情報発信を行った。

訪問企業、主な内容は次のとおり。

花王（花王のUDの考え方についての説明、UD製品の使用体験）▽沖電気工業（障がい者雇用についての説明、車いす利用者対応講座参加）▽イオン（人にやさしい施設づくりについての説明、イオンモール幕張新都心の視察）▽オリンピック・



イオンモール幕張新都心を視察した訪問団

パラリンピック等経済界協議会（富士通、NTTグループによるバリアフリーマップ作成支援についての説明ほか）▽東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（パラリンピック東京2020大会の概要についての説明）

以 上